



十二月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園

ト 部 た み

十二月の主材

○學藝會

○十二月誕生會

○玩具祭り

○十二月の町

(歳の市、冬至、クリスマス 大晦日)

○十二月の庭園其他

(吹雪、冬枯、冬木立、枯野、寒月、霜、つらら、霜どけ、氷、ダリヤの球根其他の移植、霜よけ、冬の花、果物、飼育動物)

○十二月の家庭生活

(正月の仕度、餅搗き、かるた、はねつき、凧あげ、すご六、晴着の仕度、クリスマス

三 第	二 第	一 第	
<p>自由遊び 唱歌、遊戯練習 （雀の宿、舌切雀、おどどり等）</p> <p>落音機をきく（繪） お話し遊びに導く、 手技に導く（繪） （親雀小雀） 談話 飼育小鳥、雞及雀其他</p>	<p>自由遊び 兵隊遊び、お話しあそび（桃太郎、熊のおうち） 手技（熊のおうち作り、又は繪） 観察 木の葉、枯葉、緑葉、落葉（木の葉つなぎ） ボール投げ、ボール拾ひ、リレー 唱歌、雀、其他） 遊戯練習</p>	<p>自由遊び 羽根つき、文字カード遊戯、ピョン太郎カルタ、積木、熊のおうち（お話しあそび） 木の葉遊び 観察 日向ぼっこしつ、焚火、煙、手袋、霜どけ マリヤの球根の蒔（其他） 談話（十二月になつた） 唱歌、雀、新授 遊戯、唱歌練習</p>	<p>1</p>
<p>自由遊び、観察 （霜、霜柱、つらら、薄氷、枯葉、蟲類、其他） 誕生會の仕度つきき 同前、 遊戯（雪やこんこ）新授 其他、練習</p>	<p>自由遊び、観察 雪つみ、雪つり、雪にいて問答、雪つり、雪につ 談話（雪のばさん） 唱歌（雪やこんこ）新授 誕生會の仕度 贈りもの作り、（手技） 話、本よみの材料せんた 唱歌、遊戯</p>	<p>日曜生活發表（幼児保姆） 學藝會についての發表 （談話、手技） 自由あそび おまゝごと、汽車ごっこ、積木、お容機あそび、本屋ごっこ お話しあそび 唱歌、遊戯、練習</p>	<p>2</p>
<p>自由遊び ハメレンの笛吹ききの劇 （同前） 談話（錫の兵隊） 玩具祭りについでに計畫についでの話その仕度、 家庭への通知、 （お話しあそび、唱歌、手技、遊戯）</p>	<p>自由遊びより散歩に導く、 （銀杏寺へ） 談話（ハメレンの笛吹き） （不思議な笛） オモチヤノマーチの練習、 其他 遊戯練習 ハメレンの笛吹き劇化 （教師、尋一兒童、幼兒）</p>	<p>昨日の生活發表 談話、手技 （お買物ごっこ、呉服屋ごっこ、おもちや屋ごっこ） 手技 本校花壇めぐり、（観察） 唱歌（オモチヤノマーチ） 新授其他練習</p>	<p>3</p>
<p>終業式</p>	<p>自由あそび 玩具について各自のお話し（つきき） 繪 玩具を交換して遊ぶ 各自の玩具とり纏め 唱歌、遊戯練習</p>	<p>自由あそび 玩具祭り、仕度 午前十時—十一時半 玩具まつり 午後 會場より玩具を室にはこび飾る。</p>	<p>4</p>

玩具祭りについて

玩具祭りは毎年致して居りますが、最初に致しました大正十三年の日誌からぬき書きしまして説明に添へる事と致します。(十二月十七日)

幼児の家庭へ次の手紙を持ちかへらせました。

愈々おしつまりました。お子様方はお正月を待つ嬉しさで一ばいてございます。昨年はお餅搗を致しましたが今年はお趣をかへ、楽しかつた今年の思出をなつかしみ待遠しいお正月を樂しむその生活を一層豊かにするために、「玩具祭り」を致したいと存じます。

就ては次の項お含みの上にお子様と一番おなじみの深い玩具を一二點宛來る二十日(土曜日)までの間にお持たせ下さい。

一、日常一番喜んで玩んでゐるもの、或は一番思出の深いもの、

一、機械の精巧とか、価格の高いものといふ選

び方でなしに、たとへ破損をしてゐても、つまらない様なのもお子様に興深いとか、意味のあるといふもの。

一、此の意味でお子様自身或は他の方の製作によるものもよろし。

一、其の玩具には姓名、買った時、及び其頃其時のお子様の状況、若しくは御感想。其他を御記入下さいませ。又御子様自身發表出来る程度の事は本人にさせ、一年生(尋一)は説明を自身に書かせますから豫め御配慮下さいませ。

一、御持寄の玩具は二十三日にお返しいたします。

一、玩具祭りは十二月二十二日(月曜)午前十時——十一時半

追て當日御希望により御一緒にお遊び下さいませ方は歓迎致します。

十二月十七日

第一部(尋一、幼稚園)

お母様方へ

遊びの趣旨は概ね右の手紙の中に現はれてゐると思ひますが、つまり幼児及兒童に、年の暮として楽しい集ひであるクリスマス忘年会懇親會等を一つにした様な内容をもつた催しをせしめ、子供の生活になくてならぬ玩具を中心としてそれを最も教育的に扱ひ、なほ玩具に對する幼兒らしい感謝の念、愛護の心持を養ひたいといふので御座います。なほ是を機會としてその前後の生活が保育過程として充分意義があり、又家庭と協力して保育の内容を豊かにする處に面白味があると思ひます。(十二月十九日)

寒いのにお室には玩具が並び出したので、幼兒は火鉢にも行かず嬉しさうに語りあつてゐる。次から次へと玩具を持つて説明にくる。今日は昨日より一層増して色々のものが飾られた。保姆は幼兒と個人的に玩具について話をする時はかなりに

四二

迄發表するのと同圓形になつて一人一人玩具についての説明をさせてみると、

殆ど断片的な一言で次々に補つて初めて意が通づる位である。それが幼兒として又當然の事と思ふ。従て心して母親の認めてくれた手紙の處々をよんでその幼兒の説明の補ひとする處に又一層親しみが起るのである。

Yちゃんのお話。「あのね僕、これお母様が松屋で買つて下さつたの。」

「ええ、それで足が片方とれたの。」「それで僕一しよにねたの。」

Yちゃんのお母様の御手紙。

「前略御存じの通り亂暴者として電車も汽車も大抵の物はそばからこはしてしまひ、本等は買った時ばかり大さはぎしてもすぐあきて投げ出してしまひますので、別にはと申上る物が御座いませんが、一つ男の子にあはないものを持つて遊ん

だ事が御座いました。それは御覽に入れた人形で、
是はたしか四つの時松屋へ買物に参りました時、
頻りに買ひたがりましてので買つてやりました。
その當時可愛がつて寝る時は枕を並べた事も二日
や三日では御座いませんでした。大分たつてから
も姉さん達の昔遊んだ人形の着物等古い風呂敷包
から出して着せたりして、女中に笑はれた事も度
度でした。然し近頃はすつかり玩具戸棚にはふり
込まれ、おまけにいつの間にか足も一本なくされ
て誠にあはれな有様で御座います。

こんな見る影もない人形ですがYには思出深い
物で、今の様ながさつ者が一二年前にはこのお人
形をもつて一人ておとなしく遊んでゐた事を御想
像下さいませ。昨夜是を出しましたら『もつてい
かなくてもいゝや』と恥しい顔附でしたが自分で
さつさと紙に包んでゐましたことを笑はないでや
つて下さいませ。後略。(其他の手紙略す)

今日は五人が一人て出て説明した後、裝飾贈り
物等の製作にはいる。Y達五六人はヒルの積木で
遊戯室に門を作り、I子達は入口にアーチを作り
初め、一年の子供達は「クリスマスツリー」の裝飾
にとりかゝつた。午後も引續き仕度に熱心であつ
た。(終)

(十二月二十二日)

幼児兒童の待ちに待つた玩具祭りも今日となつ
た。略、例によりプログラムは兒童幼兒に順にか
かせ周圍の裝飾の繪も幼兒にせしめ十時から會は
開かれた。

プログラム

- 一、ハジメノアイサツ ミチヲ
- 二、トイシンホニー(蓄音機)
- 三、オモチヤノゴテン センセイ
- 四、オモチヤノマーチ(唱) ゼンタイ
- 五、オハナシ ジュン

- 六、ドクシヨウ
- 七、ホンヨミ
- 八、ユフギ
- 九、オハナシ
- 十、オヤコノズズメ(話遊)
- 十一、シヨウカ
- 十二、エ(板畫)
- 十三、ドクシヨウ
- 十四、エウギ
- 十五、アライメノニンギヨウ
- 十六、クマノオウチ(話遊び)
- 十七、シヨウカ
- 十八、フシギノフエ(タイワ)
- 十九、フクビキ
- 二十、ヲハリノアイサツ

(以下省略)

なほ是等の前後の取扱ひに就て、まだ色々申上

度い事がありますが、餘り長くなりまますので略す事といたします。是だけでは如何に子供も保母も家庭の人も楽しく何もかも打忘れて遊んだか、又いかに此の十二月の後半を意義のある保育として送つたかは書き表はされませんが、私共の生活日誌の説明の一端とし又何かの御参考になりましたら嬉しい事と存じます。

生徒募集

- 本 科 一ヶ年卒業
- 托 兒 科 一ヶ年卒業
- 研 究 科 一ヶ年卒業

昭和三年四月十日始業

右生徒募集す

詳細は左記へ問合せらるべし

東京市外中高井戸町字南一三三

玉成保母養成所